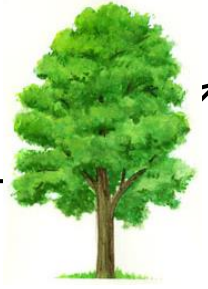




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和5年8月25日(金) No.7 文責 校長 島田 二郎



前期後半が始まりました

今日は前期後半始業日です。長い夏休みが終わり、今日から学校が始まりました。子ども達の登校の様子を見ていると、笑顔で元気よく登校している姿が見られました。また、1、2年生の中には日焼けしている生徒もあり、部活動を頑張った様子がうかがえます。逆に3年生は全体的にやや色が白くなったように感じられます。3年生は受験モードに入った証です。

さて、学校は9月以降、行事がもりだくさんとなっています。前期期末考査に始まり、生徒会役員改選に向けた選挙運動や立会演説会・投票があります。総合的な学習の時間では、「探究タイム」として各自でテーマを設定し、調べてまとめ、発表する学習活動を行います。9月末からは中体連新人大会が始まります。新チームになって初の公式戦です。新チームがどのように活躍するか、楽しみです。なお、10月には文化発表会や3年生学力診断テストもあります。

これらの活動を子ども達が意欲的に取り組み、新たな知識・技能を身につけたり、心身のさらなる成長が期待されたりします。学校も、『さらに輝く太西星の育成』のため、しっかりと支援をしていきます。

地域にたくさん貢献しました

今年の夏休みは、各自治会においてコロナ禍前とほぼ同規模の地域行事が行われました（向佐野は秋に開催予定です）。どの地域も大盛況で、来場された方々の楽しそうな顔を見ていると、改めて地域行事は良いものだと感じました。地域と人、人と人をつなぐ大事な行事です。今後も各地区の行事の盛り上がり等によって、地域全体が活性化されることを願います。

そのような中、今年も多くの中学生在がボランティアとしても地域行事に参加しました。事前準備や当日の仕事、事後の片付けなど様々な場面で活躍をしてくれました。中学生にとって地域行事は、地域を愛することや地域の役に立つこと、将来地域で活躍することにつながるなど、重要な意味をもちます。また、地域の方と触れ合い、中学生の頑張りを認めてもらうことも大事なことです。

この夏、地域行事をとおして、とても素敵な体験をすることができた子ども達が、これからも地域を愛し、地域で活躍する人材になることを期待します。



〈地域行事への参加の様子〉